

アップリカ・チルドレンズプロダクツ合同会社

〒542-0082 大阪市中央区島之内1-13-13

お客様サポートセンター TEL 0120-415-814

携帯電話からご利用の場合(通話料お客様負担) TEL 0570-004-155

受付時間:AM10:00~PM5:00(土、日、祝日、弊社所定休日を除く)

〈お願い〉

○本書の内容について、誤りや記載もれなどお気づきの点がありましたら、弊社お客様サポートセンターまでご連絡ください。

○製品の品質向上のため予告なしに一部仕様変更する場合もありますのであしからずご了承ください。

14-09

14BEFCHG-01

Aprica その笑顔には、理由がある。

子守帯

コランハグ(本体)

Colanhug

取扱説明書／保証書

首がすわってから体重15kgまでのお子さま1人用子守帯です。



※腰ベルトサイズ:74cm~118cm。

※体型によって冬場など厚着の時には使用できない場合があります。

このたびは、アップリカ製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

ご使用の前に、取扱説明書(本書)をよくお読みのうえ正しくお使いください。

本書に記載されている以外の方法でご使用されると、製品の機能が充分発揮できないだけでなく大変危険です。本書をお読みになった後は、いつでも取り出せる場所に必ず保管してください。

本製品(コランハグ本体)にコランハグ専用新生児シート(別売)を組み合わせた場合のみ新生児からお使いいただけます。

もくじ

ご使用前に

子守帯について 1

表示内容について 1

使用できるお子さまの月齢について 1

安全にお使いいただくために 2

ご使用上の注意 3-4

製品を取り出した時に 5

パックルの使い方 6

よだれパッドの使い方 6

各部の調節方法 6

おんぶハーネス 7

タテ抱っこ〈首がすわってから 体重13kgまで〉 8

タテ抱っこの準備 8

タテ抱っこの装着方法 8-10

月齢が小さい時 11

おやすみカーテン 11-12

おんぶ〈首がすわってから 体重15kgまで〉 13-15

おんぶの装着方法 13-15

タテ抱っこからおんぶへ 15-17

おやすみカーテン 18

月齢が小さい時 19

おんぶの降ろし方 19

前向き抱っこ〈ひとり座りができるから 体重13kgまで〉 20-22

前向き抱っこの装着方法 20-22

前向き抱っこの降ろし方 22

腰抱っこ〈ひとり座りができるから 体重15kgまで〉 23-25

腰抱っこの装着方法 23-25

その他 26

本体の折りたたみ方 26

Q&A 27-28

点検について 29

お手入れについて 29

SGマーク制度について 30

保証とアフターサービスについて 31

MEMO 32

保証書 34

子守帯について

○この製品は、お子さまを抱っこやおんぶして、外気浴、買い物の時などに使用するための1人用子守帯です。ご使用の前に5ページ「各部の名称」をご確認ください。

表示内容について

○「警告」、「注意」の表示は、これらの注意事項が守られなかった場合に予想される、危害・損害の切迫度の大きさにより区分したもので、大変重要な内容です。必ずお守りください。

表示	表示の内容
⚠️ 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
⚠️ 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が生じる可能性が想定される内容です。

使用できるお子さまの月齢について

○お子さまの発育は個人差がありますので月齢表示は目安にしてください。

参考月齢	0ヶ月 首すわり (4ヶ月頃)	ひとり座り (7ヶ月頃)	24ヶ月頃	36ヶ月頃	体重
タテ抱っこ		首がすわってから (24ヶ月頃まで)			13kgまで
前向き抱っこ		ひとり座りができるから (24ヶ月頃まで)			13kgまで
腰抱っこ		ひとり座りができるから (36ヶ月頃まで)			15kgまで
おんぶ	首がすわってから (36ヶ月頃まで)				15kgまで

※お子さまの衣類の厚みや体格によっては使用できない場合があります。

安全にお使いいただくために

○タテ抱っこ、おんぶ、前向き抱っこ、腰抱っこでご使用の際は、バックルを必ずとめてください。
○ベルトの長さを装着者の身体にあわせて、きつめに調節してください。
○脚部を露出したお子さまに使用された場合、肌に子守帯の跡がついたり、稀に肌がこすれて赤くなることがあります。その場合は、肌の露出部を覆う服を着せるか、露出部にタオルなどを当て、子守帯に直接触れないようにしてください。

タテ抱っこ



ジョイントバックル

ジョイントベルト

肩バックル (左右)

肩ベルト (左右)

腰バックル

おんぶ



ジョイントバックル

ジョイントベルト

肩バックル (左右)

肩ベルト (左右)

腰バックル

前向き抱っこ



ジョイントバックル

ジョイントベルト

肩バックル (左右)

肩ベルト (左右)

腰バックル

腰抱っこ



肩バックル

肩ベルト

腰バックル

ご使用前に

警告

○肩バックル、腰バックル、ジョイントバックルを外した状態で使用しない。

○お子さまが落っこち、けがをするおそれがあります。

○ベルトの長さを装着者の身体にあわせてきつめに調節してください。

○お子さまと装着者の間にすき間がありすぎると、お子さまの予期せぬ動きに対応できず落っこち、思わぬ事故やけがをするおそれがあります。

ご使用上の注意

○ここに記載した内容は非常に重要です。よくお読みになり、必ず守ってください。

⚠ 警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

肩パックル、腰パックル、ジョイントパックルを外した状態で使用しない。
お子さまが落下し、けがをするおそれがあります。



肩ベルト、腰ベルト、ジョイントベルトは必ず調節し、緩めた状態で使用しない。
お子さまが落下し、けがをするおそれがあります。



走ったり、跳んだり、前かがみなどの無理な姿勢をとらない。
お子さまが落下し、けがをするおそれがあります。



首のすわらない、お子さまに使用しない。
お子さまが落下し、けがをするおそれがあります。



タテ抱っこ、前向き抱っこでは、体重13kgを超えるお子さまに使用しない。
お子さまが落下し、けがをするおそれがあります。



おんぶ、腰抱っこでは、体重15kgを超えるお子さまに使用しない。
お子さまが落下し、けがをするおそれがあります。



ポケットには、とがったものを入れない。
お子さまが、けがをするおそれがあります。



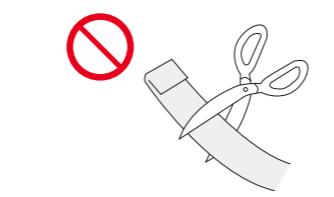
連続2時間以上または、授乳後30分以内は使用しない。
お子さま、使用者が体調を損なうおそれがあります。



⚠ 警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

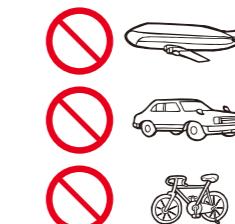
ベルトの先端の返し縫い部をほどいたり、切り落とした後に使用しない。
お子さまが落下し、けがをするおそれがあります。



バックルなどの部品が破損したり、ベルトや生地などに破れ、ほつれ、きずがある状態では使用しない。
お子さまが落下し、けがをするおそれがあります。



飛行機、車、自転車、バイクでは使用しない。



お子さまの状態に注意しながら使用する。
気道がふさがると窒息するおそれがあります。

ご使用前に

⚠ 注意

誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が生じる可能性が想定される内容です。

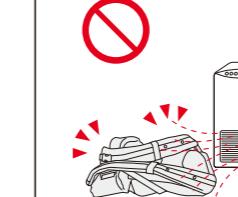
バックルは使用していない時も外したままにしない。



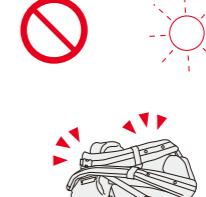
タテ抱っこでは足元が見えにくくなる場合がありますので歩行には充分注意してください。



暖房器具の近くなど高温になる場所に放置しない。



直射日光のあたる場所に保管しない。変色や劣化が早まります。



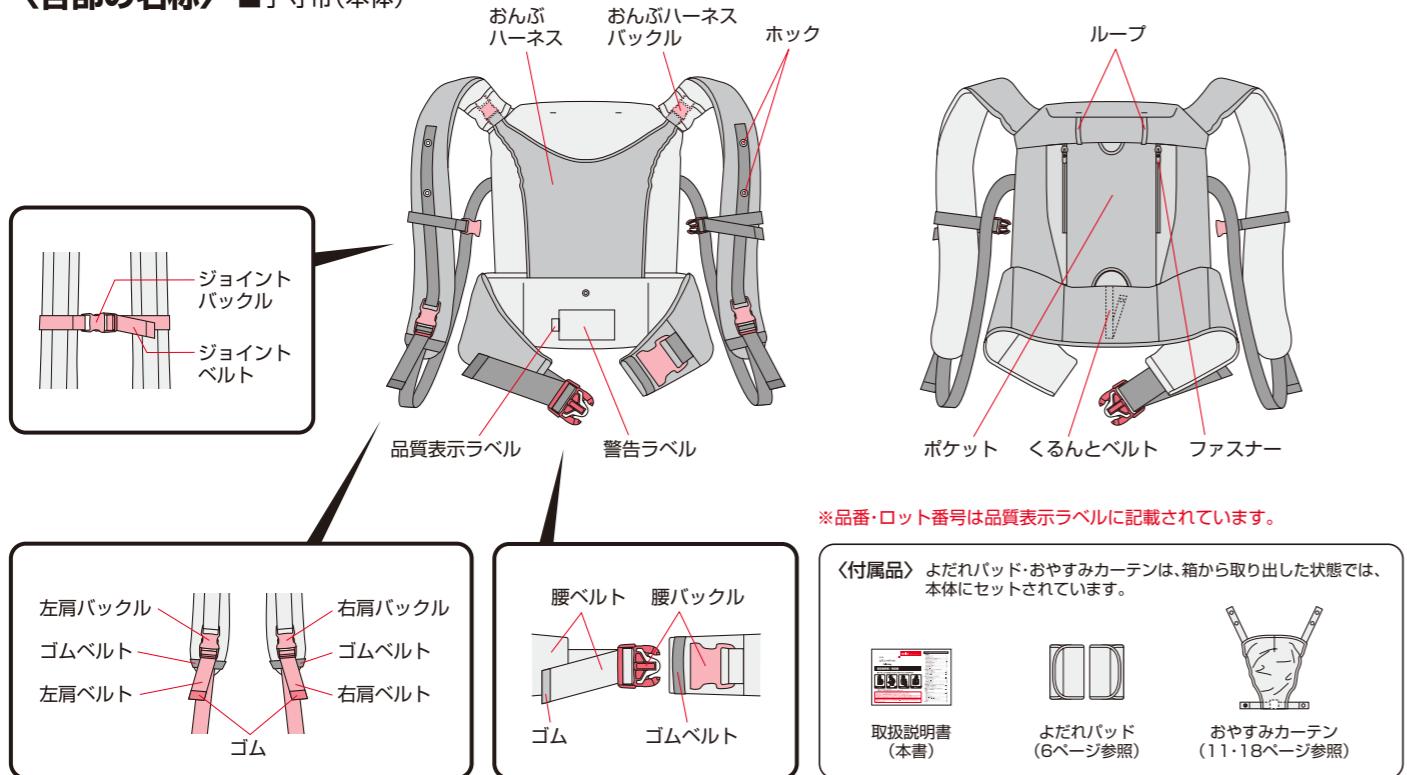
その他、荷物などの運搬や、お子さまを抱っこ、おんぶする以外の目的での使用。



製品を取り出した時に

- 製品を取り出した後は、部品が揃っているか、破損がないかを確認してください。
- 欠品や破損の際は、弊社お客様サポートセンターまでみやかにご連絡ください。

〈各部の名称〉 ■子守帯(本体)

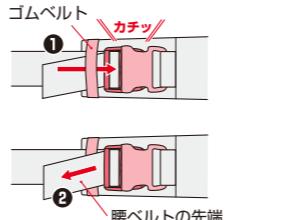


バックルの使い方

〈腰バックル・肩バックル〉

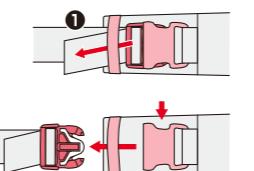
とめ方

- 腰バックルをゴムベルトに通し、腰バックルをとめる。
- 腰ベルトの先端をゴムベルトの上側に引き出す。



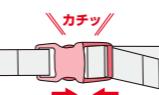
外し方

- 腰ベルトの先端をゴムベルトに通す。
- 腰バックルを外し、腰バックルをゴムベルトから抜き取る。

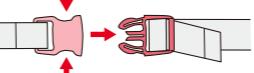


〈ジョイントバックル〉

とめ方



外し方



よだれパッドの使い方

- 肩ベルトに巻き付け、面ファスナーでとめる。
(折り返しが、お子さまの顔の外側に向くようにする。)



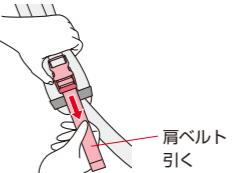
ベルトの調節方法



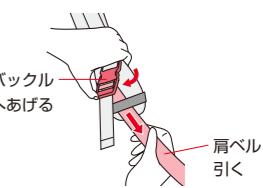
- ベルトの長さを装着者の身体にあわせてきつめに調節してください。
お子さまと装着者の間にすき間がありすぎたり、左右のベルトの長さが違うと、お子さまの予期せぬ動きに対応できず、落とし思わず事故やけがをするおそれがあります。

〈肩ベルト〉

短くする時

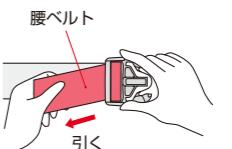


長くする時

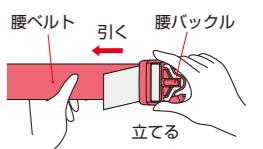


〈腰ベルト〉

短くする時

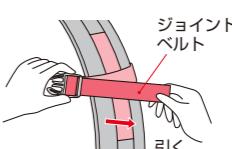


長くする時

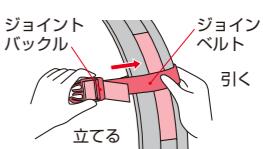


〈ジョイントベルト〉

短くする時



長くする時



おんぶハーネス

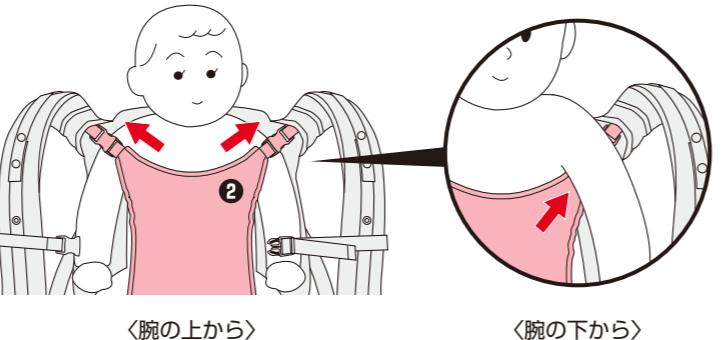
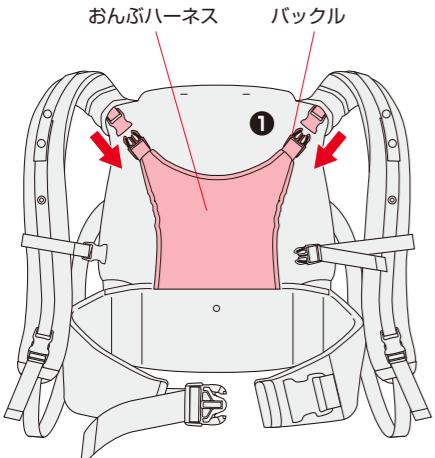
○腰すわり前のお子さまをおんぶする際や(13ページ参照)、「タテ抱っこからおんぶへ」の切り替えの際に(15ページ参照)、おんぶハーネスを使用すると、お子さまがより安定します。

①おんぶハーネスのバックルを外す。

②お子さまを乗せて、おんぶハーネスのバックルをとめる。

アドバイス

○お子さまの成長に合わせて、おんぶハーネスのバックルを腕の上から又は、腕の下からとめる。

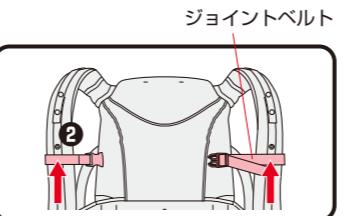
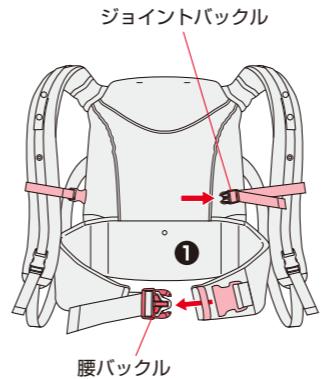


タテ抱っこの準備

- 腰バックルとジョイントバックルを外す。
- ジョイントベルトを上にすらす。

アドバイス

○ジョイントベルトを上にすらすと、後で(9ページ⑥)首の後ろでジョイントバックルがとめやすくなります。

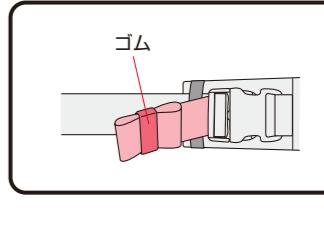
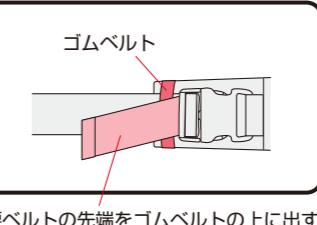
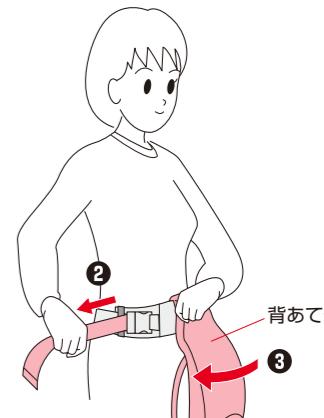


タテ抱っこの装着方法

- 腰バックルをゴムベルトに通して、とめる。

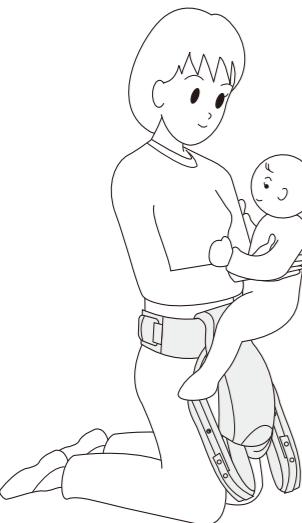
- 腰ベルトを調節し、あまたベルトをゴムでまとめる。

- 背あて部を正面にする。



タテ抱っこの装着方法 (つづき)

④お子さまを抱き上げ、本体に乗せる。



タテ抱っこ

首すわり～体重
13 kg

アドバイス

○小さいお子さまの場合、おんぶハーネスを使用すると、より
安定してお子さまを抱っこできます。(ページ参照)



○お子さまを乗せる時は、必ず安全な場所で行う。
不安定な場所などでは、お子さまが落下するおそれ
があります。

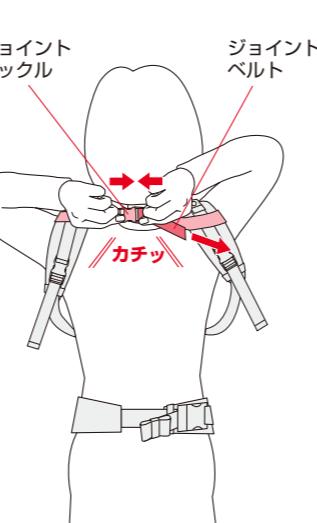
⑤左右の肩ベルトをかける。



アドバイス

○お子さまの腕は、肩ベルトの外側
でも内側でも構いません。ただし
外側に出している時に、お子さま
が反り返る場合は、肩ベルトの内
側に腕を入れてください。

⑥首の後ろでジョイントバックルをとめ、
ジョイントベルトを調節する。



○お子さまを乗せる時は、必ず安全な場所で行う。
不安定な場所などでは、お子さまが落下するおそれ
があります。

⑦左右の肩ベルトを調節し、お子さまの
位置を調える。

⑧ベルトをゴムでまとめる。



アドバイス

○肩や腰に負担がかかる場合は肩ベルト、腰ベルトを調節しな
おしてください。



⑨鏡に映して、抱っこの状態を確認してください。

※正しくできていない場合は、もう一度取り付け、調節を行ってください。

タテ抱っこの確認

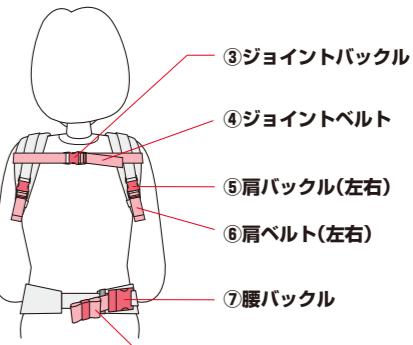
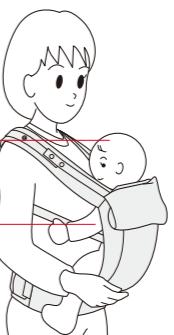
①お子さまの頭部が装着者の視界の妨げに
ならない

⑤肩バックルが確実にとまっている
⑥肩ベルトを調節している

②お子さまの両腕が出ている

⑦腰バックルが確実にとまっている
⑧腰ベルトを調節している

③ジョイントバックルが確実にとまっている
④ジョイントベルトを調節している



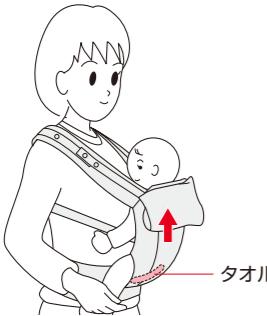
○鏡に映して、抱っこの状態を確認してください。
正しく装着されていないと、お子さまが落下したり思わぬ事故につながるおそれがあります。

月齢が小さい時

- お子さまの月齢が小さいうちは、腰ベルトを高い位置でとめると、より安定します。



- お子さまのお尻の下にタオルを入れ、高さを調節してください。



タテ抱っこ

首すわり～体重
13 kg

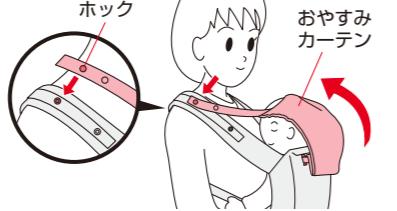
おやすみカーテン

- お子さまが寝た時などに使用すると首が安定します。
- 風よけや日差しよけにもなります。

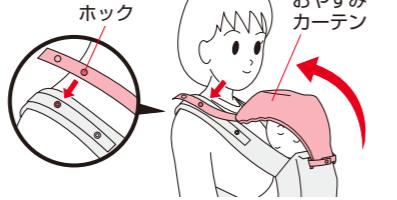
〈調節方法〉

- お子さまの成長に合わせて〈A〉浅く、
〈B〉深く、どちらかで調節してください。

〈A〉浅く

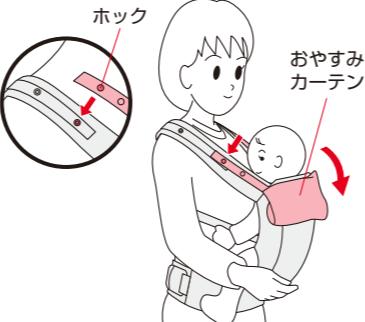


〈B〉深く



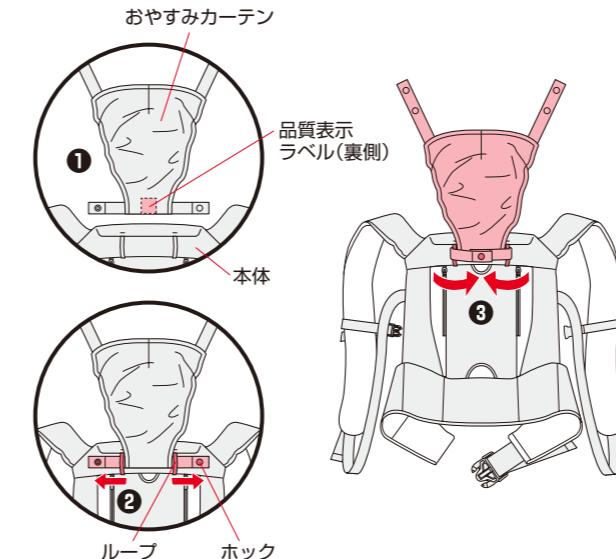
〈使用しない時〉

- ホック位置を下げて付け、おやすみカーテンを二つ折りにする。



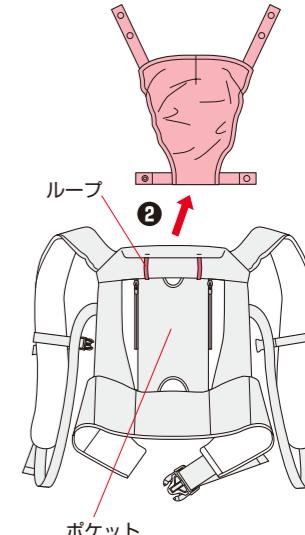
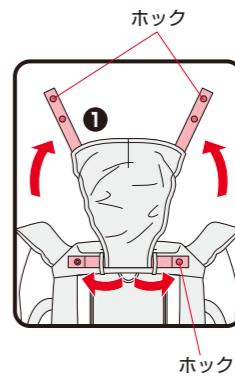
〈取り付け方〉

- ①おやすみカーテンの品質表示ラベルを本体側に向ける。
- ②ホックをループに通す。(左右)
- ③ループに通したホックをとめる。



〈取り外し方〉

- ①おやすみカーテンのホックを全て外す。(3カ所)
- ②ホックをループから抜き取り、おやすみカーテンを取り外す。



タテ抱っこ

首すわり～体重
13 kg

アドバイス

- 調節方法および使用しない時は、11ページを参照してください。

アドバイス

- 取り外したおやすみカーテンを収納する場合はポケットに収納してください。

おんぶの装着方法

(つづく)

- 腰バックルとジョイントバックルを外す。
- お子さまを乗せて、おんぶハーネスのバックルをとめる。

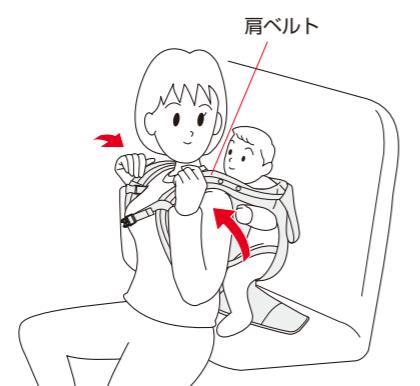
アドバイス

- お子さまの成長に合わせて、おんぶハーネスのバックルを腕の上から又は、腕の下からとめる。
- おんぶハーネスを使用すると、より安定してお子さまをおんぶできます。

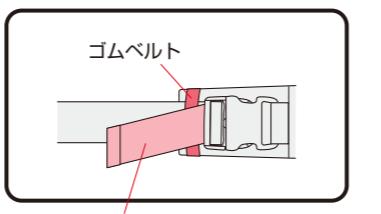


警告
○お子さまを乗せる時は、必ず安全な場所で行う。
特に、ひとり座りができる前のお子さまをおんぶする際には他の人に手伝ってもらうとより安全です。
不安定な場所などでは、お子さまが落下するおそれがあります。

③左右の肩ベルトをかける。

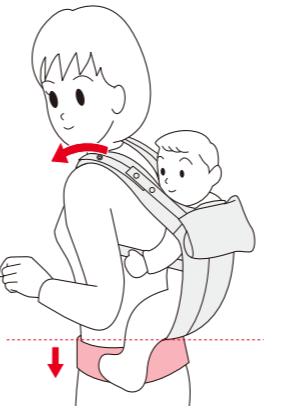


- 前かがみの体勢でお子さまを背負い、腰バックルをゴムベルトに通し、とめる。



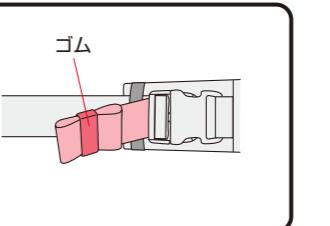
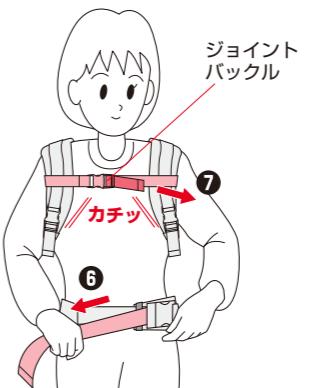
注意
○お子さまの状態に注意しながら使用する。
気道がふさがると窒息するおそれがあります。

- お子さまのお尻の位置が腰ベルトより高くなるように調節する。
(左右の肩ベルトを調節したり、腰ベルトの位置を下げる。)

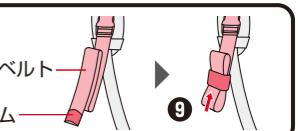
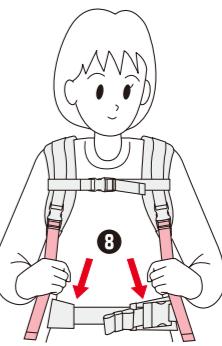


アドバイス
○お子さまが装着者の腰に安定する位置にする。

- 腰ベルトを調節して、あまつたベルトをゴムでまとめる。
- ジョイントバックルをとめ、ジョイントベルトを調節する。



- 左右の肩ベルトを調節する。
- ベルトをゴムでまとめる。



アドバイス
○肩や腰に負担がかかる場合は肩ベルト、腰ベルトを調節しなしてください。

おんぶ

首すわり～体重
15 kg

14

おんぶ

首すわり～体重
15 kg

13

おんぶの装着方法 (つづき)

①鏡に映して、おんぶの状態を確認してください。

※正しくできていない場合は、もう一度取り付け、調節を行ってください。

おんぶの確認

①お子さまの両腕が出ている

②ジョイントバックルが確実にとまっている

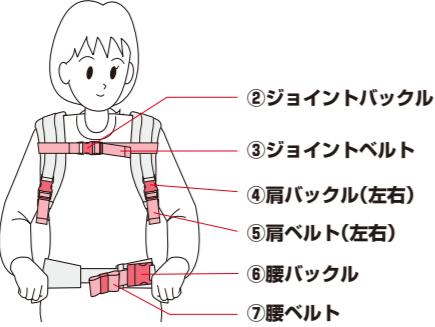
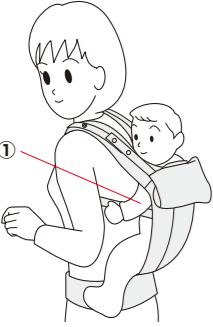
③ジョイントベルトを調節している

④肩バックルが確実にとまっている

⑤肩ベルトを調節している

⑥腰バックルが確実にとまっている

⑦腰ベルトを調節している



○鏡に映して、おんぶの状態を確認してください。
正しく装着されていないと、お子さまが落下したり思わぬ事故につながるおそれがあります。

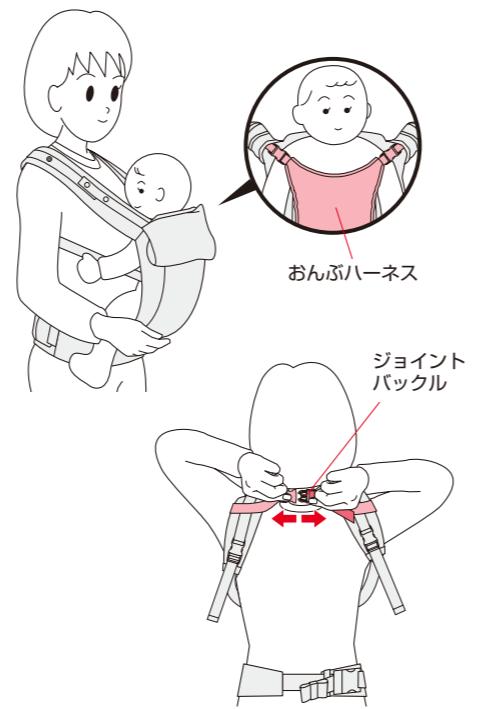


○装着者が痛みや不快を感じた場合は使用を中止してください。特に、授乳期のお母さまは、乳房を圧迫するおそれがあります。

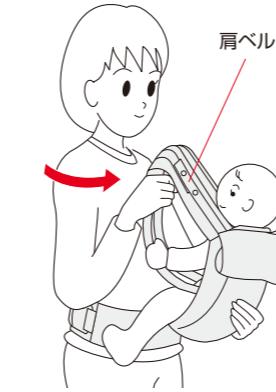
タテ抱っこからおんぶへ

○タテ抱っこ時、おんぶハーネスを使用している場合に限り可能です。

①タテ抱っこの状態でジョイントバックルを外す。



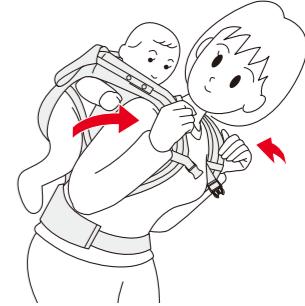
②左右の肩ベルトを肩から外し、まとめる。



③肩ベルトをしっかりと持ち、前かがみの姿勢になり、お子さまを支えて背中側にまわす。



④左右の肩ベルトをかける。



おんぶ (つづく)

おんぶ

おんぶ

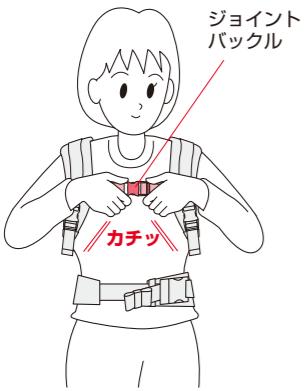
首すわり～体重
15 kg

おんぶ

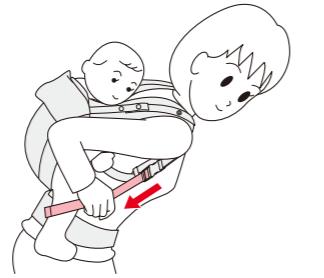
首すわり～体重
15 kg

タテ抱っこからおんぶへ (つづき)

⑤ジョイントバックルをとめ、
ジョイントベルトを調節する。



⑥左右の肩ベルトを調節し、あまった
ベルトをゴムでまとめる。



⑦鏡などに姿を映して、おんぶの状態を確
認してください。(15ページ参照)
正しくできていない場合は、もう一度
取り付け、調節を行ってください。



アドバイス

○肩や腰に負担がかかる場合は肩ベルト、腰ベルトを調節しな
おしてください。



○正しく装着されていないと、お子さまが落ちたり
思わぬ事故につながるおそれがあります。

おんぶ

首すわりく
体重
15 kg

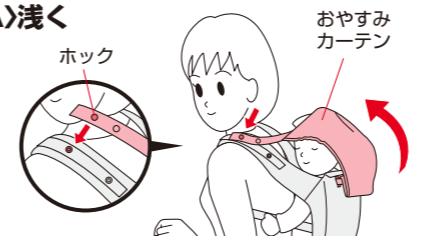
おやすみカーテン

- お子さまが寝た時などに使用すると首が安定します。
- 風よけや日差しよけにもなります。
- おやすみカーテンの取り付け方、取り外し方は、12ページを参照してください。

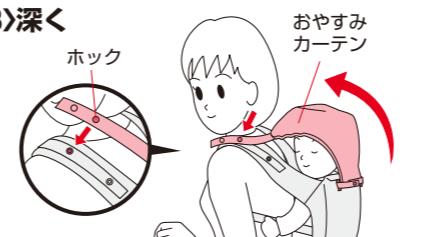
調節方法

- お子さまの成長に合わせて①A浅く、②B深く、どちらかで調節してください。

①A浅く



②B深く



アドバイス

- 鏡などに姿を映して、おやすみカーテンがお子さまの
頭を覆っていることを確認してください。
正しくできていない場合は、もう一度調節しなおして
ください。



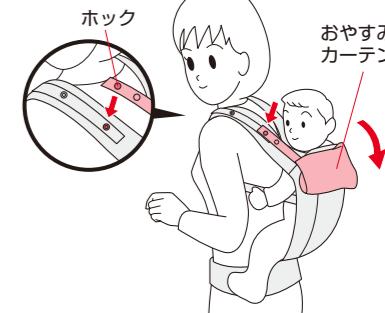
○おやすみカーテンを使用する際は、特にお子さまの様子に注意してください。
気道がふさがると窒息するおそれがあります。

おんぶ

首すわりく
体重
15 kg

使用しない時

- ホック位置を下げて付け、おやすみ
カーテンを二つ折りにする。



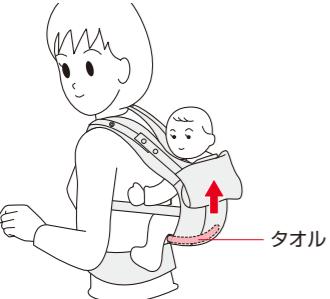
○お子さまが寝て後ろに反り返る場合はおんぶの
使用を中止してください。

月齢が小さい時

○お子さまの月齢が小さいうちは、腰ベルトを高い位置でとめると、より安定します。



○お子さまのお尻の下にタオルを入れ、高さを調節してください。

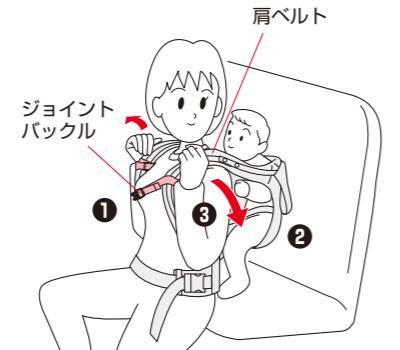


おんぶ

首すわり～体重
15 kg

おんぶの降ろし方

- ①ジョイントバックルを外す。
- ②お子さまをゆっくり降ろす。
- ③肩ベルトを外す。



- ④腰ベルトを外す。
- ⑤おんぶハーネスのバックルを外す。



アドバイス

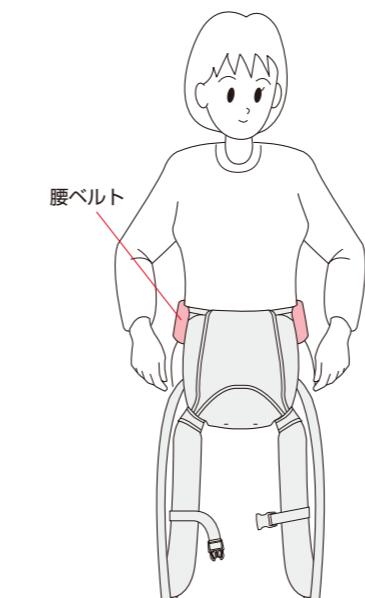
○イスが無い場合は、おんぶからタテ抱っこに戻して（17ページ①→16ページ①→②→②参照）、安全な場所にお子さまを降ろしてください。



○お子さまを降ろす時は、必ず安全な場所で行う。
他の人に手伝ってもらうとより安全です。
不安定な場所などでは、お子さまが落するおそれがあります。

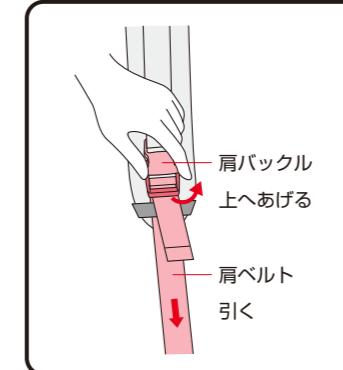
前向き抱っこの装着方法

- ①おやすみカーテンを外す。（12ページ参照）
- ②8ページ「タテ抱っこの装着方法①～③」を参照して腰ベルトをとめる。

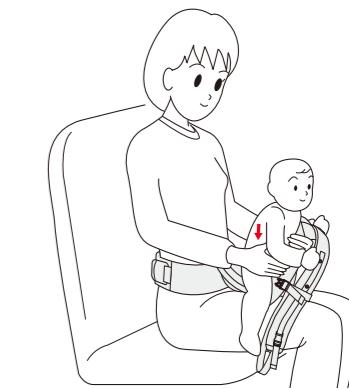


- ③肩ベルトを長めに調節する。

〈長くする時〉



- ④お子さまの体を前向きに子守帯にのせる。



（つづく）

腰すわり～体重
13 kg
前向き抱っこ

アドバイス

○おんぶハーネスを使用すると、より安定してお子さまを抱っこできます。（7ページ参照）

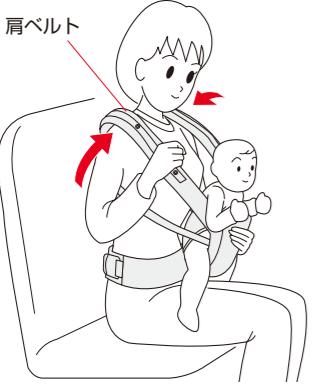


○お子さまを乗せる時は、必ず安全な場所で行う。
不安定な場所などでは、お子さまが落するおそれがあります。

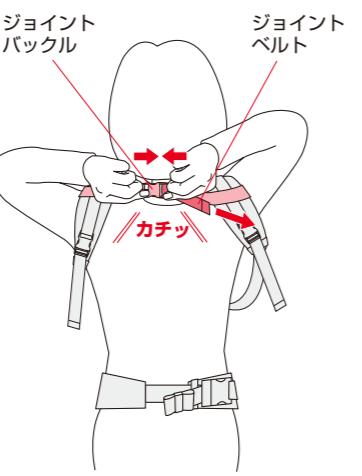
20

前向き抱っこの装着方法 (つづき)

⑤左右の肩ベルトを両肩にかける。



⑥首の後ろでジョイントバックルをとめ、
ジョイントベルトを調節する。



⑦肩ベルトを調節する。

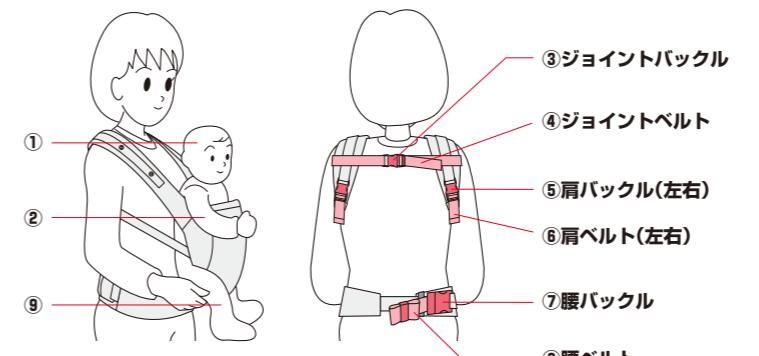


⑧鏡に映して、抱っこの状態を確認してください。

※正しくできていない場合は、もう一度取り付け、調節を行ってください。

前向き抱っこの確認

- | | |
|-------------------------|------------------|
| ①お子さまの頭部が装着者の視界の妨げにならない | ⑤肩バックルが確実にとまっている |
| ②お子さまの両腕が出ている | ⑥肩ベルトを調節している |
| ③ジョイントバックルが確実にとまっている | ⑦腰バックルが確実にとまっている |
| ④ジョイントベルトを調節している | ⑧腰ベルトを調節している |
| ⑨お子さまが足を自由に曲げることができる | |



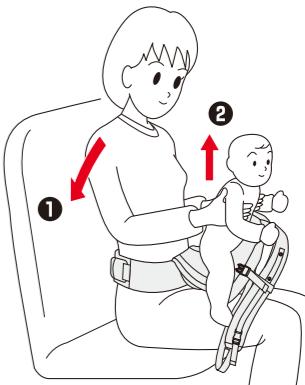
アドバイス

○お子さまの腕は肩ベルトの外側でも内側でも構いません。
ただし外側に出している時に、お子さまが前のめりになる
場合は、肩ベルトの内側に腕を入れてください。

前向き抱っこの降ろし方

①安全な場所に座り、ジョイントバックルを外し、肩ベルトを外す。

②お子さまを降ろす。



アドバイス

○肩や腰に負担がかかる場合は肩ベルト、腰ベルトを調節しなおしてください。
○前向き抱っこのは30分程度を目安してください。



○鏡に映して、前向き抱っこの状態を確認してください。
正しく装着されていないと、お子さまが落っこちたり思わぬ事故につながるおそれがあります。

○お子さまを降ろす時は、必ず安全な場所で行う。
不安定な場所などでは、お子さまが落っこするおそれがあります。

腰抱っこの装着方法 (右抱っこ、左抱っこ、どちらでも使用できます。ここでは、右抱っこで説明しています。)

(つづく)

- おやすみカーテンを外す。(12ページ参照)
- 8ページ「タテ抱っこ」の装着方法①～③を参照して腰ベルトをとめる。
- 左右の肩バックルを外す。

- 右側の肩バックルを左側の肩バックルにあるゴムベルトに通し、バックルをとめる。

- 右腕と頭を通し、肩ベルトをななめにかける。
- 腰ベルトを右側にまわす。

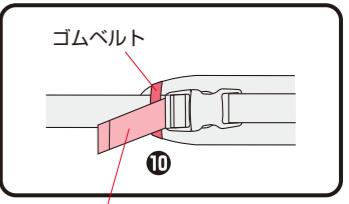
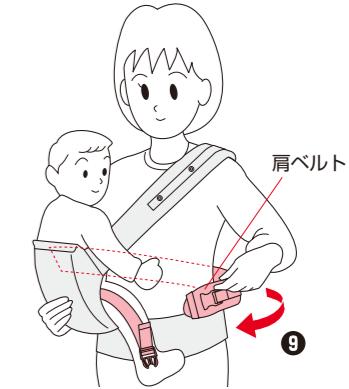
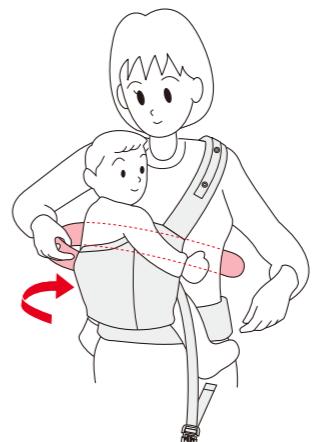
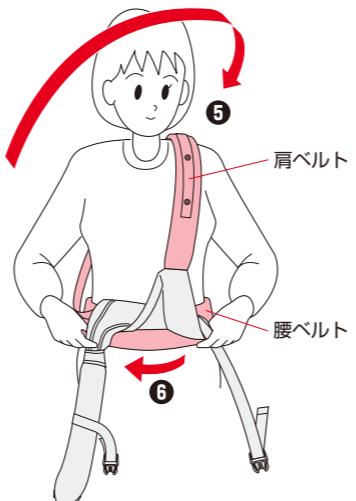
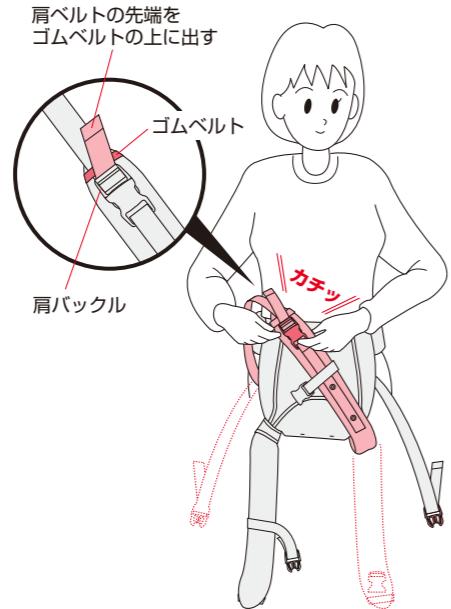
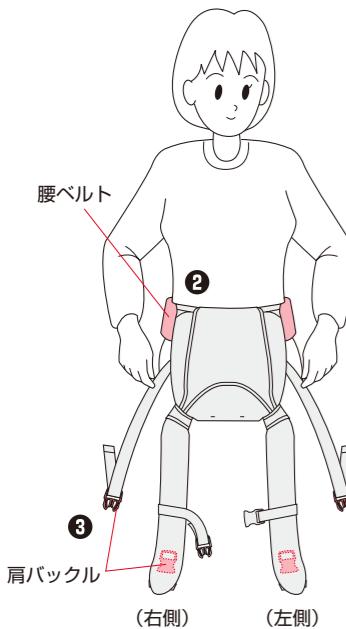
- お子さまを抱き上げて、子守帯に乗せる。

- 背中側から右側の肩ベルトを腰にまわす。

- 腰にまわした肩ベルトを左側から出す。
- 肩バックルをゴムベルトに通し、バックルをとめる。

腰すわり～体重
15 kg

腰抱っこ

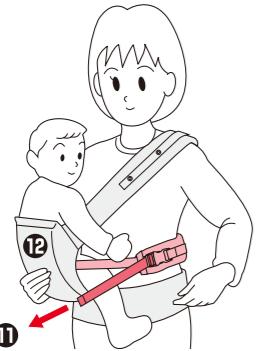


腰すわり～体重
15 kg

腰抱っこ

腰抱っこの装着方法 (つづき)

- 肩ベルトを調節し、あまつたベルトをゴムベルトでまとめる。
- お子さまの位置を調整する。



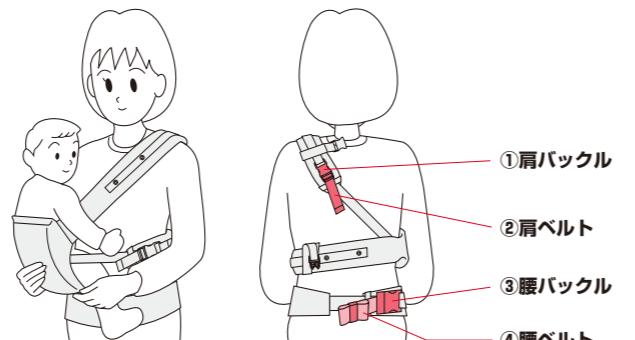
アドバイス

- 肩や腰に負担がかかる場合は肩ベルト、腰ベルトを調節しないでください。

- 鏡に映して、抱っこの状態を確認してください。
※正しくできていない場合は、もう一度取り付け、調節を行ってください。

腰抱っこの確認

- 肩バックルが確実にとまっている
- 肩ベルトを調節している
- 腰バックルが確実にとまっている
- 腰ベルトを調節している



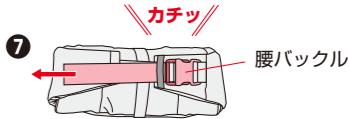
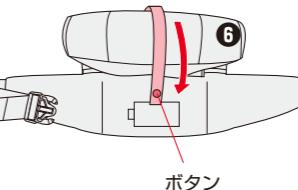
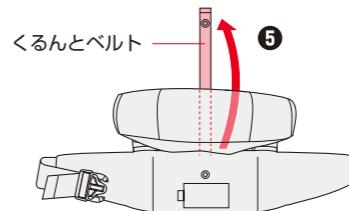
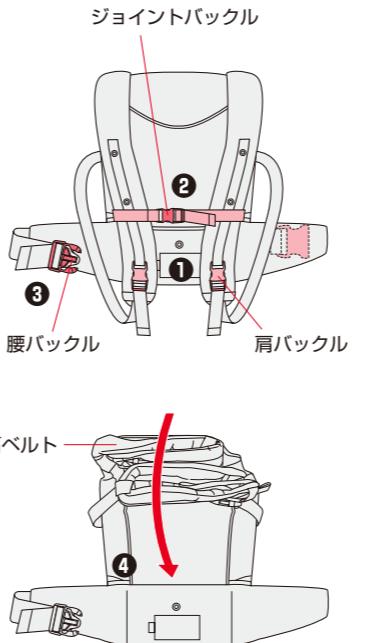
- お子さまを手で支えて使用してください。
○正しくできていない場合は、もう一度取り付け、調節を行ってください。



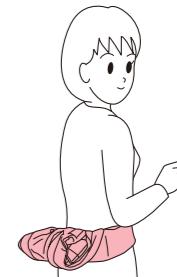
- 鏡に映して、腰抱っこの状態を確認してください。
正しく装着されていないと、お子さまが落下したり思わぬ事故につながるおそれがあります。

本体の折りたたみ方

- 肩バックルをとめる。(左右)
- ジョイントバックルをとめる。
- 腰バックルを外して、子守帯を広げる。
- 左右の肩ベルトをまとめて、折りたたむ。
- 腰ベルトからくるんとベルトを引き出す。
- くるんとベルトを巻き付けホックをとめる。
- 腰バックルをとめて、腰ベルトを調節する。



- ⑥の状態で装着していただくこともできます。



その他

Q&A

Q おんぶハーネスは子どもの腕の上でとめるべきですか？それとも腕の下でとめるべきでしょうか？

A お子さまの成長にあわせてどちらでもご使用いただけます。

目安として腰すわり前のお子さまには、おんぶハーネスのバックルを腕の上から、腰すわり後のお子さまには、おんぶハーネスのバックルを腕の下からとめてあげるようにしてください。

Q タテ抱っこ時、体が埋もれる感じになり、子どもの顔が見えない状態ですが、このまま使用してもいいですか？

A お子さまの身長に対して背あて部分が長い場合は、お子さまのお尻の下にタオルなどを敷いて、お子さまの高さを調節してください。また、腰ベルトを少し高めのウエストあたりに装着するようにしてください。(11ページ、19ページ参照)

Q 腰ベルトをどのあたりに装着すればよいですか？

A 一般にウエストより少し下の、腰骨あたりに装着すると、より負担が軽減されます。お子さまの身長にあわせて、適切な位置に調節してください。

Q ベルトの余りが長く垂れ下がって気になります。

A ベルトはゴムでまとめることができます。(8ページ、10ページ参照)

Q タテ抱っこ時、子どもの肩が外に出てしまうのですが、大丈夫でしょうか？

A お子さまの腕が外に出てしまっても、使用上の問題はありません。ただし、特に腰すわり前のお子さまは上半身が不安定ですので、手で支えるようにしてあげてください。

Q 子守帯の生地と子どもの肌が触れる部分が赤くなる時があるのですが…。

A お子さまの肌に子守帯の跡がついたり、肌がこすれて赤くなる場合は、肌の露出部を覆う服を着せるか、露出部にタオルなどを当て、子守帯が直接触れないようにしてください。

点検について

- ご使用の前に、バックルなどの部品が破損したり、ベルトや生地などに破れ、ほつれ、きずが無いことを確認してください。
異常がある状態で使用すると、事故につながるおそれがあります。

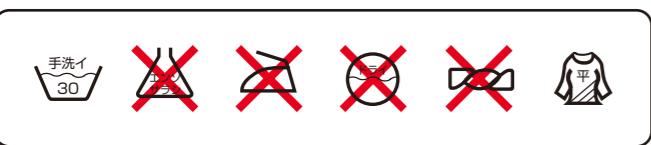
お手入れについて

〈軽度の汚れの場合〉

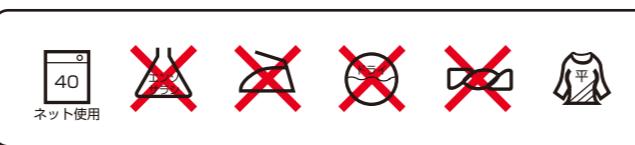
- 湿らせた布でたたいて汚れを落としてください。

〈洗濯する場合〉

○本体・よだれパッド



○おやすみカーテン



- 注意**
- 本体、よだれパッドは洗濯機、脱水機、乾燥機を使用しないでください。
バックルやファスナーなどの破損につながるおそれがあります。
 - よだれパッドを洗濯する時は面ファスナーをとめて手洗いしてください。
 - おやすみカーテンの洗濯時は洗濯ネットを使用してください。
 - 他の物とは別に洗濯してください。色落ちし移染するおそれがあります。
 - 蛍光剤入りの洗剤を使用しないでください。
 - 漂白剤を使用しないでください。
 - 漬け置きしないでください。
 - 濡れたまま放置しないでください。カビなどが発生するおそれがあります。
 - 洗濯後、充分乾燥させて使用してください。乾燥が不充分な場合、カビなどが発生するおそれがあります。

SGマーク制度について



SGマーク付き製品は安全性が高く、安心してお使いいただけるものですが、製品安全協会では損害保険会社と生産物賠償責任保険の契約を結んでおり、SGマーク付き製品の欠陥により、人身被害が生じたと認められる場合、事故原因、被害の程度などに応じて、賠償措置を実施します。

ただし、子守帯の場合、ご購入後3年以内の製品が対象となります。

賠償についてのご注意

SGマーク被害者救済制度は、SGマーク付き製品の欠陥によって傷害などの身体的な損害(人的損害)について賠償する制度です。この制度は、SGマーク付き製品そのものが故障した場合に補償するものではなく、また、SGマーク付き製品の欠陥によって他の物に生じた損害(物的損害)を賠償するものではありません。

製品の欠陥によって事故が起きた場合

事故が起きたら、すぐに製品安全協会へ連絡してください。

連絡後、製品安全協会から送付されてくる事故発生届等を提出していただきます。(原則として60日以内)

製品安全協会 〒110-0012 東京都台東区竜泉2-20-2 ミサワホームズ三ノ輪2階
TEL 03-5808-3300

〈事故の届出に必要な項目〉

- 事故の原因となったSGマーク表示の製品
イ)製品の名前、SGマーク番号 ロ)製品の購入先、購入年月
- 事故発生の状況
イ)事故発生年月日 ロ)事故発生場所 ハ)事故発生状況
- 被害の状況
イ)被害者の氏名、年令、性別、職業、住所 ロ)被害の状況と程度

保証とアフターサービスについて

○保証期間中(お買い上げ日より1年間です。)に部品の欠品、不良加工など弊社の責任によるもの、取扱説明書や注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合には、保証規定にもとづき無償にて対応を致します。ただし、部品の色・柄などについては、ご希望に添えない場合があります。また、製造中止後の製品については、対応出来ないこともあります。

アフターサービスについての連絡先

アップリカ・チルドレンズプロダクツ合同会社

〈電話連絡先〉

お客様サポートセンター TEL **0120-415-814**

携帯電話からご利用の場合(通話料お客様負担) TEL **0570-004-155**

受付時間:AM10:00~PM5:00(土、日、祝日、弊社所定休日を除く)

.....
〈製品をお送りいただく場合のみの宛先〉

〒632-0231 奈良県奈良市都祁吐山町2364-5

アップリカ 奈良サービスセンター ☎(06)4300-4949

MEMO

MEMO

その他